

5月9日 (月)

■総合商社の三井物産株式会社(東1 8031)は、ブラジルにおける農業生産、穀物物流事業のMultigrain AG(本社スイス/以下、MAG)を完全子会社化した。ブラジルにおける農業生産・穀物物流事業の拡充により、ブラジルやアジア等の市場に向けた穀物の安定供給を図る目的。三井物産は、シーエイチエス社(スイス)が保有するMAG株式44.2%を約180億円で取得し、また、ピーエムジー・トレーディング社(本社スイス)が保有するMAG株式9.7%を約40億円で取得した。本追加取得後の累計投資額は約470億円となり、MAG株式の98.1%を保有することとなる。

5月10日 (火)

■石油精製事業の出光興産株式会社(東1 5019)は農薬メーカーのエス・ディー・エスバイオテック(東2 4952/以下、SDSバイオ)を連結子会社化すると発表した。製品開発やアジアなど海外展開での相乗効果が目的。みずほフィナンシャルグループ系の投資ファンドからTOBにより株式を取得する。投資ファンドからの株式取得額は40億円。買付株数の上限は設けないため、買収額は膨らむ可能性がある。SDSの2010年12月期の売上高は114億円で、国内で16位。海外での売上高が3割を占める。SDSバイオの上場は維持する方針。

5月11日 (水)

■情報システム事業会社の協和エクシオ(東1 1951/以下、同社)は、連結子会社である、同業の和興エンジニアリング株式会社(JQ 1756)、大和電設工業株式会社(JQ 1985)、池野通建株式会社(未上場)の3社を完全子会社化することを決議した。同社を完全親会社、子会社3社を完全子会社とする株式交換を行う。株式交換によりグループの企業価値拡大を図る。和興エンジニアリングと大和電設工業は2004年に同社の連結子会社となった。和興エンジニアリング、大和電設工業はともに7月27日付けで上場廃止の予定。

5月12日 (木)

■鮮魚販売の株式会社ヨンキュウは同業の株式会社海昇の全株式を取得し、子会社化することを決議した。両社の販売経路を活用するとともに新規市場の開拓により、リーディングカンパニーとしての営業基盤を確立する。取得株式数は5,000株。取得価額は850百万円。

5月13日 (金)

■アミューズメント機器事業のセガサミーホールディングス株式会社(東1 6460/以下、セガサミーHD)はタイヨーエレクトリック(JQ 6429)を株式交換により完全子会社化すると発表した。経営資源を相互活用し、事業連携を強化することが目的。セガサミーHDの子会社であるサミーを株式交換完全親会社、タイヨーエレクトリックを株式交換完全子会社とする株式交換。サミーの普通株式1株につき、タイヨーエレクトリック普通株式を0.4株割り当てる。5月13日の終値で計算したサミーによるタイヨーエレクトリックの取得価額は6,458百万円。セガサミーHDは株式交換を目的としサミーを割当先とする自己株処分で約70億円を調達する。タイヨーエレクトリックは7月27日付けで上場廃止の予定。

無料レポートの登録はこちら!

<http://esnet.sslserve.jp/es/mailmagazine/>

月額3万円の従業員教育サービスESMはこちら!

<http://www.esnet.co.jp/esr/>

【本レポートに関するお問い合わせ先】株式会社エスネットワークス 長谷川 ざち恵 Tel:03-5573-4661 / s-hasegawa@esnet.co.jp <http://www.esnet.co.jp/es/>

このレポートは主として情報提供を目的としたものであり、特定の会計・税務処理を勧奨するものではありません。会計上及び税務上の判断については、事前に公認会計士及び税理士、弁護士等の専門家と十分ご相談ください。本レポートの利用すること、またはその情報に依存する上で、直接、間接、状況による場合、特殊または結果的に発生する損失、ダメージ、コスト、クレーム、要請などに対し、株式会社エスネットワークスは一切の責任を負いません。当レポート上で紹介されている第三者のウェブサイトに関しては、株式会社エスネットワークスはその情報の内容についてコントロールする立場にありません。また、一切の責任を負いません。第三者のウェブサイトの利用を推奨するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、株式会社エスネットワークスはその正確性及び完全性を一切保証いたしません。本レポート記載の事項は今後予告なく変更されることがあります。当該レポートの内容に関する一切の権利は株式会社エスネットワークスに帰属し、事前の了承の無い複製又は転送は禁じられております。